

SCHOOL! YELL!! エール

Vol.6

一矢不乱!!

串良中学校 弓道部



▲一矢不乱を背に、的を見据え、狙いを定めて射る様子

弓道部は、1年生7人、2年生8人の計15人で活動しています。3年生が引退して、夏休みから新チームで活動しています。私たちは「一矢不乱」の精神で、練習に集中して一本一本の射を大切にすること、を心掛けて頑張っています。

私たちの当面の目標は、10月に開催される肝属地区新人戦でチームとして優勝することです。そのため、先生のご指導のもと、みんなで声を掛け合うなど、協力して練習に取り組み、一本でも多くの的に当てて優勝できるように頑張ります。



部長
まえむら こはる
前村 心春 さん(2年生)

公民

地理

歴史

文化

文化財

まちづくり

人物

その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第6路 創立90年の節目 星塚敬愛園

国立療養所星塚敬愛園は、全国で13か所あるハンセン病療養所の一つで、1935年(昭和10年)10月28日に設立され、今年で創立90年になります。設立に当たっては地元大始良村出身で、当時衆議院議員、後に鹿屋市長になる故永田良吉氏が尽力し、この地に誘致しました。

ハンセン病とは、細菌の一つである「らい菌」の感染によって発症する病気です。現在では治療法も確立し、完治する病気として一般の医療機関での診療が可能ですが、有効な治療法が確立されていなかった頃は、顔や手足などの後遺症が目立つことから、ハンセン病を発症した人は偏見・差別の対象となっていました。特に明治時代に入ってから国の法律によって、ハンセン病の人は療養所に強制収容する政策が執られてきました。

その後、法律は平成8年に廃止されましたが、今でも元患者さんが星塚敬愛園をはじめとする各地の療養所で生活しています。

敬愛園には、入所者が生活するための施設・設備のほか、見



▲平成26年に設立された社会交流会館。展示のほか、学芸員の講話等も実施される。

学が可能な施設もあります。社会交流会館では、療養所での生活を余儀なくされた方々が懸命に生きてこられた証の歴史パネルや資料、入所者の方々の生活用品などが展示しており、ハンセン病や敬愛園の歴史・偏見・差別について学ぶことができます。皆さんも見学をして地域にある敬愛園の歴史を学んでみてはいかがでしょうか。

※見学は予約が必要です。
TEL 0994-4912500
までご連絡ください。

【お詫びと訂正】

Vol.467号(8月20日号)32ページ掲載の鹿屋街道で一部間違いがありました。

向江町の寺名を「願正寺」と記載しておりましたが、正しくは「願生寺」です。また、花岡山浄福寺の小型阿弥陀如来尊像について、「廃仏毀釈の難を逃れてきた」という旨の記載がありましたが、正しくは「江戸時代における薩摩藩の一向宗(浄土真宗)禁止の際に隠れ念仏として礼拝された仏像」です。お詫びして訂正します。